

sangetsu

Joy of Design

日装連新聞

発行所
日本室内装飾事業協同組合連合会
 Japan Interior Decoration Association (JIDA)
 〒105-0003
 東京都港区西新橋3-6-2 西新橋企画ビル8F
 Tel(03)3431-2775 Fax(03)3431-4667

月刊 毎月15日発行
 講読料 年間2,400円 1部200円

迎春 2017



年頭の御挨拶

日本室内装飾事業協同組合連合会

理事長 西浦 光



平成29年の輝かしき新春を迎え
 られました事、謹んでお慶び申し
 あげます。

各地の日装連組合員の皆様にお
 かれましては、新しい年の初めを
 大いなる希望と願いを込めて、西
 年のスタートを切られた事と存じ

日装連創立50周年

一層の団結強化と

さらなる発展へ

ご協力を賜りました事に心から御
 礼を申し上げます。
 さて本年は、日装連の五十周年
 記念式典の開催の年に当たってお
 ります。

また国内におきましても、熊本
 大震災、多くの台風の上陸、気温
 の激しい上下等、世界的規模での
 気候変動に見舞われ、経済面では
 マイナス金利の発行にも関わらず、
 景気の浮揚はなかなか起こらず、
 大手ゼネコンだけの好決算はあり
 ましたが、日本全体としては低成
 長の1年であったと思われま

さて昨年は、海外では6月のイ
 ギリスのEUからの離脱の国民投
 票、11月にはドナルド・トランプ
 景気の浮揚はなかなか起こらず、
 大手ゼネコンだけの好決算はあり
 ましたが、日本全体としては低成
 長の1年であったと思われま

また平成7年12月には、建設大
 臣(現 国土交通大臣)の認可を得
 て、経産省並びに国交省の両省認
 可団体となりました。

この間45年以上に渡って、防災
 ラベル並びに防火壁装ラベルの支
 給を行ってまいりましたし、30年
 以上に渡って内装士(日装連イン
 テリアデコレーター)制度を日装
 連定款事業として決定し多くの内
 装士を誕生させてきました。

その他、厚労省の1級、2級の
 技能士や登録内装仕上工事基幹技
 能者等々、様々な資格取得への体
 制も整備してまいりました。

この五十周年記念式典を、更な
 る日装連の飛躍点と捕らえ、「額に
 汗し、努力した者が報われる業界」
 にするために声を上げ続けてまい
 ります。

結びに、全国の組合員、関係各
 位のみならずのご健勝とご繁栄を
 祈念いたしまして新年のご挨拶と
 いたします。

またまだここには書ききれない
 ほど多くの事業に取り組み、大き
 な成果を上げられましたのは、ひ
 とくに日装連を支えて頂いた49の
 都道府県組合の皆様方のご尽力の
 お陰と、改めて衷心より感謝申し
 上げる次第であります。



!im

謹賀新年

株式会社川島織物セルコン
<http://www.kawashimaselkon.co.jp>

広告のお問い合わせは販売促進グループまで
 03-5144-3892 9:00AM~5:00PM (土、日、祝日、特別休日を除く)

PART OF LIXIL

ショールーム showroom

- 東京ショールーム 〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント6F TEL:03-5144-3980
- 大阪ショールーム 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA12階 TEL:06-6733-1310
- 札幌ショールーム TEL.011-330-1777
- さいたまショールーム TEL.048-658-2312
- 名古屋ショールーム TEL.052-300-8473
- 京都ショールーム TEL.075-330-0087
- 福岡ショールーム TEL.092-452-8118

インテリア業界初の
 「エコファースト企業」
 に認定されました。



2017年 年頭の御挨拶

建設産業の将来見据え 環境整える

国土交通省土地・建設産業局
建設市場整備課長



木村 実氏

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日本室内装飾事業協同組合連合会及び会員・関係者の皆様には、平素より国土交通行政の推進について、格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設産業は住宅や社会資本の整備・維持管理を通じて、我が国の基幹産業として経済・社会の発展を支えており、建築物の機能性と居住性を高める内装仕上事は、建築物の性能やデザインに関し人々のニーズが高まるとともに、その重要性は更に高まっております。しかしながら、建設産業は現在、技能労働者の高齢化や若年層人口の減少等に直面しており、将来における担い手の確保や技能・技術の継承が大きな課題となっております。国土交通省としては、若年層の就職促進など担い手の確保・育成を推進するため、公共工事設計業務単価について、平成25年4月から4度にわたる引き上げを行っております。単価の上昇が実際の賃金水準の上昇という好循環に繋がっていく

よう、関係団体へ働きかけを行うなどの取り組みを進めています。社会保険の加入促進についても、平成29年度に企業単位の加入率を100%にする等の目標達成に向けて対策をより一層強化しているところであります。関係者のご協力をお願いしながら引き続き取り組んでまいります。さらに、技能労働者その技能や経験に見合った処遇を受けられるよう、「建設キャリアアップシステム」の平成29年度の本格稼働に向け、業界の関係者一丸となって取り組みを本格化させてまいります。

今後とも建設産業に従事する方々が将来を見通すことができ、使命と誇りを持って仕事に打ち込める環境を整え、安心して国土づくり・地域づくりの担い手としての役割を果たしていただけるよう努めてまいります。貴連合会におかれましては、登録内装仕上工事基幹技能者講習会の開催や社会保険未加入対策等を通じて、技能労働者の確保・育成に取り組んでこられました。これらの活動を更に推進して頂き、内装仕上事業・建設産業のより一層の発展に寄与されますことを、期待申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

明けておめでとうございませう。平成29年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。担い手3法の成立を機に、一挙に拡がりを見せた担い手確保の取り組み、

産業間競争に生き抜く 施策を展開

一般財団法人 建設業振興基金
理事長



内田俊一氏

地域に根ざした教育訓練機関の創設が具体化しはじめる一方で、生産性向上元年を掲げた新しい挑戦もはじまるなど、よいよ正念場を迎えつつあります。地域の安全を守るといって、いま建設業に最も期待されている役割を全うするためには、担い手不足が本格化する中で、産業間競争をたくましく生き抜いていかなければならないと認識しております。

一人前に育てる仕組みを建設産業の標準装備にする。こうした目的で始まった「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」は36の地域で様々な取り組みがなされています。建設業振興基金は、この事業の呼びかけ人として、また事務局として各地域の取り組みをサポートしていきます。

厚生労働省から受託している「建設労働者緊急育成支援事業」も2年度目です。初年度に続いて、与えられた目標を達成できるよう、20の地方拠点と力を合わせて事業を推進します。この2つの事業は、相互に補完し合いながら、教育訓練の仕組みの整備につながっていくものと期待しています。

日本の技術力活かし 販路拡大目指す

経済産業省製造産業局
生活製品課長

杉山 真氏



新年あけましておめでとうございます。平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年の繊維産業は、業界にとって引き続き厳しい1年となりました。また、従来の繊維産業を支えるサプライチェーンの

つながりが弱まり、産業全体としての活力低下が指摘されております。こうした問題意識のもと、中長期にわたって産業を発展させていくための展望を描くため、「アパレル・サプライチェーン研究会」を開催し、昨年6月に報告書をとりまとめました。この中で、今後、繊維・アパレル産業が目指すべき方向性として、高品質かつ洗練された更なる高付加価値素

材(糸・生地)の開発と販路開拓、技術力と消費者ニーズをマッチさせた衣料品製造、そうした製品によるインバウンドを含む海外市場獲得が掲げられています。また、サプライチェーンの再構築により、付加価値の最大化を目指すことが重要となります。今後は、報告書で掲げられた将来像の実現に向け、民間事業者の方々と一緒になって全力をあげて取り組んでい

く所存です。アパレル企業と産地の中小企業が長期的な信頼関係を築くためには、合理的な商取引慣行の改善を図り、健全なサプライチェーンへと再構築していくことが重要です。現在、日本繊維産業連盟と繊維産業流通構造改革推進協議会が連携し、商取引慣行に関する自主的な行動計画策定を進めていただいております。繊維産業流通構造改革推進協議会では、「歩引き」取引の廃止を宣言していただきました。当省としても、年度内の行動計画の策定や幅広い関係者への周知

など、最大限の支援をしております。これに加えて、製品の付加価値の向上や海外販路開拓に向けて積極的に取り組んでまいります。まず、開始から3年目を迎えた「J・Q・U・A・L・I・T・Y」制度は、各分野にも広がりを見せており、純国産にこだわった精緻なもののづくりを推進しつつ、消費者に対してはその魅力をアピールすべく、業界が一体となって本制度の拡大、浸透を図っていくことが必要であり、引き続き支援してまいります。海外販路開拓については、昨年、日EU・EPA、日中韓FTAに

おいて、原産地規則等について産業界間での合意が得られました。経済産業省としては、こうした産業界の取り組みの成果を交差において最大限生かすよう取り組むとともに、RCEPなど他の交渉においても広く繊維分野において交渉相手国の市場アクセス改善に向けて進んでまいります。また、2国間の政策対話を迎える「J・Q・U・A・L・I・T・Y」制度は、各分野にあらゆる機会を活用し、より良いビジネス環境を整備すべく働きかけを行ってまいります。最後に、新たな繊維産業の強みとされる日本の高機能繊維等の新素材や商品の開発に当たっては、試験・評価手法に関する標準化を推進し、その利用促進を図ることが重要です。我が国は、高機能繊維にかかるとい

さらなる防災品の 認知度向上へ

公益財団法人 日本防災協会
理事長

丸山浩司氏



ら、改めて自然災害の脅威を感じた年でもありました。

このような中、当協会としましては、適正な防災性能試験、防災ラベルの交付、防災品の品質管理並びに普及促進に全力で取り組んでいく所存であり、これは、皆様のご協力なくしては、なし得ないことと考えております。

また、全国の火災の状況を見ますと、ここ数年の発生件数は、前年度を下回る傾向にあります。が、火災による死者の発生状況では、高齢者の方々が身体のご不自由な方々で犠牲になる方が依然として高い傾向にあります。春秋に実施される全国火災予防運動におきましても防災品の普及促進が重点目標のひとつに挙げられており、更なる火災被害軽減を図るために防災品の認知度を上げるとともに広く普及することが求められており

目です。初年度に続いて、与えられた目標を達成できるよう、20の地方拠点と力を合わせて事業を推進します。この2つの事業は、相互に補完し合いながら、教育訓練の仕組みの整備につながっていくものと期待しています。

担い手への取り組みも、安定した市場環境の下でしっかりと利益を上げていける経営力があればこそ可能になります。債務保証事業、建設産業活性化支援事業、経営力強化研修事業、情報化推進事業など振興基金各部の事業を時々のニーズに応えたものとなるよう工夫をこらして連携させ、また、同じ目的を持つ団体、機関と協力しながら、挑戦する建設業経営者を今年も応援していきます。

今後国民から一層信頼される防災品となるよう努力してまいりますので、引き続きご指導・鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後にになりましたが、本年が災害の少ない平穏な年となりますように、また日本室内装飾事業協同組合連合会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸・健康を心からお祈り申し上げます。

日装連の
キャラクターマーク

トンテリア・TORI・KAERU

日本室内装飾事業協同組合連合会

見て、触れて、 感じる体験現場の拡大へ

一般社団法人建設産業専門団体連合会
会長 才賀清二郎氏



平成29年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、一般社団法人建設産業専門団体連合会の活動に対しご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

東日本大震災の復興工事業や東京オリンピック・パラリンピックの開催、熊本地震災害等、度重なる各地域における自然災害への対策、更新時期を迎える老朽化した社会基盤整備といった国家的事業への対応が急務となっていますが、少子高齢化が大きな社会問題となる中で、工事の中心を担う技能労働者が減少し続け、円滑な事業執行が危

惧され、建設産業という枠を超えた大きな課題が日本に突き付けられています。
この課題に対応すべく、建設産業の担い手確保・育成に向け、行政、業界が一体となった取り組みが行われていますが、建専連は、次代を担う子供たちに引き継ぐべきは、今、何をすべきかを改めて問いかけ、体験学習できる現場の拡大に向

けた取組を行うことなどにより、広く国民に建設産業・専門工事業の役割についてアピールしようと全国大会を開催し、また、発注者との意見交換会でも体験学習できる現場の指定が出来ないか要望して来ましたが、建設産業の担い手確保・育成は、喫緊の課題で、社会保険加入問題についても、公共工事について、本年4月から未加入者は現場に入れないとし、民間工事についても立入検査を強化するという方針が出されました。
また、登録技能者について、国土交通省は、

富士教育訓練センターの建替工事についても各会員団体のご支援をいただきながら、教育訓練の充実を図り、建設産業の発展に向け日本室内装飾事業協同組合連合会の皆様と一致団結して取り組んでまいりたいと思っております。

追記
皆様の御支援により、富士教育訓練センター泊棟・共用棟の竣工式を1月12日に行うことになりました。有難うございます。引き続き教室棟・管理棟についても検討中です。

インテリア解体新書

130

インテリア文化研究所 本田榮一



先月、熱海の老舗旅館「大観荘」で壁装研究会の冬季研修会が開催された。壁装研究会の正会員は東京を中心とする有力表具店と内装工事店、賛助会員は壁紙メーカーと接着剤メーカーで構成されている。毎回、時機に叶ったセミナーがあり、先月は「フリース壁紙とデジタルプリント壁紙」で、私とリンテックサイエンス小島社長が講師を担当した。詳細は割愛す

るが、小島社長の説明で強く印象に残ったのは「世界のインテリアトレンドは、ハイムテキスタイル、ドモテックス、immケルン、メンエオブジェ、サローネ、ネオコンの6展示会で決まる」と断言したことだ。見識の高さに驚くが、略称だけではどのような見本市なのか理解できないし、まして夫々の相関関係になるとチンプンカンプンと推察する。しかしインテリア業界でもグローバル化の重要度は益々増し、避けて通ることはできない。そこで今回は冬の欧州見本市を俯瞰したい。

市、「ケルンは「国際家具見本市」、メンエは「国際装飾見本市」である。四つの見本市の見どころを独占と偏見で紹介したい。まずハイムは壁紙とカーテンの3号館、窓装飾とテキスタイルの4号館、テーマパークとデジタルプリントの6号館は後者はネオコンに象徴さ

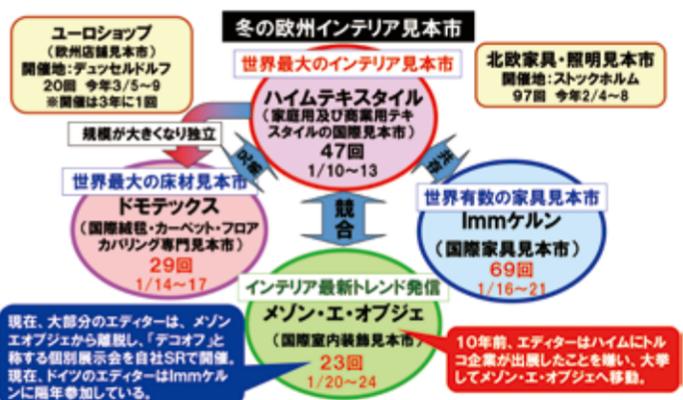
る米国の影響が強いことである。これを前提に次の説明を読んでいただきたい。「冬」に限定した場、4月のサローネと6月のネオコンは対象外になる。4つの見本市を順次説明すると、ハイムの正式名称は「家庭用及び商業用テキスタイルの国際見本市」、ロアカバリリング専門見本

冬の欧州インテリア見本市

日本のインテリアと欧米の関係



- オフィスインテリアは米国の影響が強い
- 住宅インテリアは欧州の影響を強く受ける



現在、大部分のエディターは、メンエオブジェから離脱し、「デコオフ」と称する個別展示会を自社SRで開催。現在、ドイツのエディターはImmケルンに隔年参加している。

「冬」に限定した場、4月のサローネと6月のネオコンは対象外になる。4つの見本市を順次説明すると、ハイムの正式名称は「家庭用及び商業用テキスタイルの国際見本市」、ロアカバリリング専門見本

には絨毯ホールも訪ねたい。昨年6月のネオコンではLVTとタイルカーペットを組み合わせたデザインが顕著で、見るのも一興だろう。ケルンでは2年に1回の開催年になる。その中でお勧めは私が、いきなり4大見本市を訪ねるのは不可能に近い。そこでお勧めは私が、代表を務めるインテリア文化研究所主催「冬の欧州四大インテリア見本市」を受講することである。東京会場は2月7日に西新宿のLIXILホール、大阪会場は2月9日に天満橋のOMMビル会議室、名古屋会場は2月10日に名古屋駅前前のウィンクあいち会議室で開催される。受講料は8000円/人と高額だが補って余りあるメリットがあるはずだ。詳細はホームページをご覧ください。

日装連行事

2月	3日 常任理事会 13日 新聞編集会議 15日 登録内装仕上工事委員会
3月	14日 新聞編集会議 21日 常任理事会
5月	16日 宮城組合50周年記念式典
6月	9日 第51回通常総会(八芳園)懇親会は開催せず
10月	4日 日装連五十周年記念式典(八芳園)
11月	10日 平成29年度日装連インテリアデコレター試験(五十周年記念式典のため変更) 15日 17日 ジャパンテックス2017

新色登場

快適で、メンテしやすい
サニタリー空間に

- ドライ(乾式)清掃に対応
- ノーワックス&臭気吸着仕様
- 厚く均一なコーティング層が、汚れから強力にガード
- すぐれた耐薬品性

ノーワックスでも汚れが付きにくく、しかも、付着したよごれを取りやすい床材

サニタリウム

ロンシール工業株式会社 <http://www.lonseal.co.jp/>

本社 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1821 FAX.03-5600-1890

デジタルプリント

お好みのデザインを壁面へ
リックグラフィックコレクション

自身の「書」を壁面に。

JAPANTEXでご好評いただきました!

1Mからのオーダーメイドで様々な用途に自由なデザインを壁面に表現。

「東リ」のカーテンやラグのデザインを壁紙にデジタルプリント。

GRAPHIC COLLECTION

リック株式会社 TEL.03-5825-7307 <http://www.lic-net.jp/gracol>

営業企画部



日装連会議録

五十周年記念特別委員会

表彰者選定他、具体的内容を

日装連は12月20日13時より日装連会議室において、五十周年記念特別委員会を開催した。

和田委員長並びに西浦理事長の挨拶の後に、和田委員長の下審議が進められた。

最初に五十周年特別委員会会議次第に基づいて、現在決まっている事の確認と、まだ決まっていな

い事に分けて諸問題の検討に入った。

まず講演会の会場については、当初案から変更を行って、記念祝賀会を行うジュールの間を仕切

って、400名の席を確保する事とした。次の記

念式典は約200名の会場なので、出席できない200名の方々の控室としてチャットの間を用意する事も決められた。

続いて組合出席者400名以上確保の件については、全国の組合に暫定的に行った出席予定者数の一覧表に基づき討議を行った。400名に足りない人数分の配分のお願いを組合ごとに行い、その内容については各委員から対象の組合に対してお願いする事が決められた。各組合からの出席者、日装連幹部、ご招待者、賛助会員等の胸の名札や胸章についても基

本的な事が決められた。正式な各組合へのご案内は、6月初旬に行い、7月15日までに返事を頂く事とし、他のご招待者についてもほぼ同時期のご案内を行う。

続いて表彰者の選定作業に入った。事前に事務局で各省庁、団体との打ち合わせを行っており、中小企業庁長官表彰を4名から5名へ増員をお願い、経済産業省製造産業局長表彰は5名ですでに国交省に提出済み、全国中小企業団体中央会会長

表彰は従来通り5名に、中央職業能力開発協会会長感謝状は新たに5名に、日装連理事長表彰を組合事務局20年以上勤続の方々に贈る事を決めてある事が報告された。

次回の委員会までに、事前に各組合へのアンケートを基に作成した資料に基づき概要を決めて、それぞれの表彰にふさわしい方々を候補者として推薦する事を決定した。

日装連理事長表彰は全部で10名の方々が候補になり、表彰者全ての方々は日装連からの招待とする事も決められた。

引き続き、講演会、記念式典、記念祝賀会での挨拶者の人選に入った。

講演会は石破衆議院議員をお願いしてあるが、開会前に西浦理事長のご挨拶があり、記念式典では開会の辞を小坂田副理事長、理事長式辞は西浦理事長、実行委員長挨拶は和田副理事長、受賞者代

の展示とリクエストに添えてのお酒を注ぐ人の整備を提案したが、そんな大げさなものでなく、テーブルの上に1升びんを置いておくくらいで良いのではとの意見もあり、また時間があるので今後八芳園と打ち合わせを行う次回の委員会でも検討する事とした。

1升びん2本ずつは、事前に日装連に送付して頂き、日装連で各都道府県ごとの整理整頓を行う事も決められた。

お土産については前回の委員会で決められた様に、日装連五十周年焼き印入り特大瓦せんべいとトリ・カエルマーク入りの今治の高級タオルであるが、それぞれ650枚ずつ7月には発注する事を決め、最終の正式な見積もりを取る事を西浦理事長にお願いした。

続いて五十周年記念誌編集担当者であるインテ

リア情報企画の善明委員から資料に基づいて、トータル200ページの記念誌ページ構成(案)の説明が行われた。

まず祝辞であるが、国土交通大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、全国中小企業団体中央会会長、日本建設業連合会会長、建専連会長、振興基金理事長、日本防炎協会理事長、日本壁装協会会長、日本インテリアアフリック協会会長の10人の方々から頂く事を決めた。

表謝辞は渡邊神奈川組合理事長、閉会の辞は川瀬副理事長、祝賀会では開会の辞は角田副理事長、乾杯の発声は建専連の才賀会長、中締めは賛助会員の出席者の中で選定、閉会の辞は富澤副理事長が行う事が決定された。

かねてより懸案となっていた祝賀会でのバックグラウンドミュージックについては、西浦理事長が香川県での東京藝大の関係者を頼りに交渉を行い、東京藝大が責任を持って引き受けて頂く事になった。詳細は今後の交渉によるが、10人から12人くらいの女性の藝大生による演奏となる見込みである。

続いて祝賀会の中で行う、「全国自慢の日本酒飲み比べコーナー」のイベントについての検討を行った。

事務局よりは会場での混乱の基にならない様にとの思いから、ロビーで

子供たちが帰った後、大人達の場で酒が少々出ますが、その場もまた楽しい場となります。

私は、こうして神楽に携わり、約40年役者達をまとめるのも、一苦労ありますが、毎年4月になりますと祭りのことで、心が浮かれてくるのも私の歴史かとも思っております。

現在、運営委員会を勤めておりますが、2年後には若い世代に交代しようと考えております。祭りとは、友を呼び、友を作り地域とのつながりを作り、楽しい出会いも生まれる場所であると思っております。

(岐阜組合副理事長)

容に対する指摘やアドバイスがあったので、それを基に善明委員が次回までにある程度の内容を作成して、委員会に諮る事が決められた。

また記念誌のメインタイトルについても多くの意見が出されたが、「飛躍」や「志」「躍進」などが挙げられ、和田実行委員長の揮毫で次回の委員会に提出いたなく事となった。

さらに「日装連五十周年記念誌」発行にあたっての協賛広告の依頼の文

書(案)が事務局より示され、料金は1ページ12万円(税抜き)、半ページ6万円(税抜き)のみとして、1月中には関係各社等に対して送付する事が説明された。

広告の申し込み締め切りは、4月末、原稿の締め切りは7月末とした。

10分の休憩の後に、収支予算案の検討に入った。収入であるが、五十周年積立金は計画通りの金額、通常総会の懇親会が行わないのでその費用、全国理事長会も開催らと決めて閉会した。

17年3月22日13時半から決めて閉会した。

【出席者】
和田則雄(委員長、福岡)、西浦光(理事長、香川)、川瀬修一(委員、愛知)、角田健(委員、埼玉)、富澤宏(委員、東京)、小坂田達朗(委員、大阪)、渡邊弘一(委員、神奈川)、久保田清(委員、群馬)、細野呼伎(委員、岩手)、善明剛史(委員、日装連)、山崎正通(専務理事、日装連)、安田貴一(顧問、日装連)、押谷昭雄(事務局、日装連)

祭りと共に40年

神座孝郎

私が住む郡上八幡には、八幡神社があり、その神社の祭りが毎年4月に行われています。

その祭りに太神楽を奉納いたします。この神楽は、岐阜県重要無形文化財に指定されており、360年の歴史を持つ由緒ある神楽であります。郡上藩主、遠藤常友氏が京都より勧請し祭りを行ったと古文書に記されています。

祭礼当日は、公民館より打ち出

し八幡神社に向かいます。行列は幟、笠鉦、神輿、出花、田楽、神楽台等々と、役者、奴、音頭取り、東西呼ばり、太鼓打ち、獅子、獅など金襴羽織袴の衣装を着け100名の行列で、市内を回ります。所々で神楽舞と奴踊りを奉納して回り、帰りは夜の8時過ぎになり、それが2日間続きます。本祭当日は、庁舎記念館前で八幡神社、日吉神社、岸剣神社との合同

奉納があり、奴踊りの連中はたいへん張り切って踊りを披露します。奴の衣装は袴纏に赤フンを締めてあります。見物人も三〇〇人程ありますから、一段と気合が入るところでもあります。また、祭り当日は、2週間夜の神楽練習があり、小学生、中学生、高校生達と共に話をしながら、練習するものも

日装連は、12月19日13時半より、日装連会議室において、常任理事会を開催した。

西浦理事長の挨拶の後、報告事項から審議に入った。報告事項は12月16日現在のラベル支給枚数、20日、21日の年末の挨拶の内容等だった。

最初に、防炎ラベル、壁装ラベルの12月16日現在の支給枚数の報告が行われた。12月の支給枚数は、3ラベルともほぼ前年比100%近くを達成する数字であるが、残念ながら全体では前年を割り込んでいた。年度末の追い込みを期待する事となった。

続いて12月20日、21日の年末のあいさつ回りの具体的な時間割等の検討

日装連は、12月19日13時半より、日装連会議室において、常任理事会を開催した。

西浦理事長の挨拶の後、報告事項から審議に入った。報告事項は12月16日現在のラベル支給枚数、20日、21日の年末の挨拶の内容等だった。

最初に、防炎ラベル、壁装ラベルの12月16日現在の支給枚数の報告が行われた。12月の支給枚数は、3ラベルともほぼ前年比100%近くを達成する数字であるが、残念ながら全体では前年を割り込んでいた。年度末の追い込みを期待する事となった。

続いて12月20日、21日の年末のあいさつ回りの具体的な時間割等の検討

常任理事会

社会保険に関する調査方法を検討

5年での返済になったとの報告があり承認された。事務所の古い小机等も、中古家具店に依頼して今期中に取り替える事が承認された。

社会保険加入のフォローアップ調査の件は、国交省に提出した内容が委員に提示されたが、社会保険加入促進及び社会保険一括請求する標準見積書については、日装連の組合員における関心が薄く、他の団体に比べて大きく遅れているので、どのようにアンケートを行うかが討議された。

組合員1人1人にアンケートを行うのではなく、組合に対してそれぞれの組合での保険加入についてのアンケートを行う形にする事が決まり、年明け早々に理事長名での文書を作成する事となった。

建設マスターとジュニアマスターについては、国交省より例年通りマス

【出席者】
西浦光(理事長、香川)、川瀬修一(副理事長、愛知)、和田則雄(副理事長、福岡)、角田健(副理事長、埼玉)、富澤宏(副理事長、東京)、小坂田達朗(副理事長、大阪)、山崎正通(専務理事、日装連)、安田貴一(顧問、日装連)

業界情報
アラカルト

軽量タイプの壁紙用接着剤 「アクア125K」 新発売

ヤヨイ化学販売



を実現、また種のサイズも従来の3分の2の小さく、現場搬入や商品の保管など、さまざまな状況で今までにない便利さを發揮する。

化が進んでいく中で、壁紙用接着剤は18キロタイプが長く主流となっており、商品の軽量化が待ち望まれていた。

は、「JAPANESE 2016」に出品注目を集めた、軽量タイプの壁紙用接着剤「アクア125K」を、このほど新発売した。

第29回技能グランプリ

2月10日～13日に 静岡で開催

厚生労働省、中央職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会が主催する「第29回技能グランプリ」が、2月10日(金)～13日(月)、静岡県内のツインメッセ静岡、キラメッセ沼津、静岡県立沼津技術専門学校、(株)静岡鐵工所、中央調理製菓専門学校静岡校、ポリティクスセンター静岡の計6会場で開催される。

この場となる。

第29回目の今回は、30

職種において競われ、内

装関連ではプラスチック

系床仕上げ(競技日・2

月11日(土)／会場・キ

ラメッセ沼津)、カーペ

ット系床仕上げ(競技日・

2月11日(土)／会場・

キラメッセ沼津)、壁装

(競技日・2月11日(土)

／会場・ツインメッセ静

岡)などが実施される。

成績発表は2月13日

(月)。各競技の1位～3

位までに主催者賞(賞状

及びメダル)が授与され

第1位には内閣総理大臣

賞、または厚生労働大臣

賞などが贈られる。

結果等については後日

掲載する。

2017年 謹賀新年



平成29年

シンコール 株式会社

代表取締役
長 池田 皖偉

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛一丁目一七番一
F 電話 (03) 3705-1131
A X 電話 (03) 3705-1132

トキワ産業 株式会社

代表取締役
長 竹内 晴彦

〒140-0002 東京都品川区東品川三丁目一八番一
F 電話 (03) 3472-1130
A X 電話 (03) 3472-1131

住江織物 株式会社

代表取締役
会長兼社長 吉川 一三

〒542-8504 大阪府大阪市中央区南船場
F 電話 (06) 6251-1120
A X 電話 (06) 6251-1121

株式会社 ニチベイ

代表取締役
長 福岡 勇之輔

〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目一五番一
F 電話 (03) 3272-1174
A X 電話 (03) 3272-1175

田島ルーフィング 株式会社

代表取締役
長 田島 国雄

〒101-8579 東京都千代田区外神田四丁目一四番一
F 電話 (03) 6837-1888
A X 電話 (03) 6837-1889

株式会社 美柳

代表取締役
長 鍵和田 朋幸

〒164-0012 東京都中野区本町二丁目八番一五
F 電話 (03) 3372-1131
A X 電話 (03) 3372-1132

立川ブラインド工業 株式会社

代表取締役
長 立川 光威

〒108-8334 東京都港区三田三丁目一四番一
F 電話 (03) 5484-1600
A X 電話 (03) 5484-1601

ヤヨイ化学販売 株式会社

代表取締役
長 二口 真

〒174-0042 東京都板橋区東坂下一丁目一七
F 電話 (03) 5939-1841
A X 電話 (03) 5939-1842

株式会社 岩崎貞三商店

代表取締役
岩崎 信一郎

〒590-0011 大阪府堺市堺区香ヶ丘町四丁目一四番一
F 電話 (072) 2281-7101
A X 電話 (072) 2281-7102

株式会社 龍村美術織物

代表取締役
龍村 清

〒604-8101 京都府京都市中京区
柳馬場通御池下る柳八幡町六五
F 電話 (075) 211-1530
A X 電話 (075) 211-1535

リック 株式会社

代表取締役
長 松本 渉

〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町
F 電話 (06) 6245-1239
A X 電話 (06) 6245-1240

株式会社 川島織物セルコン

代表取締役
長 山口 進

〒601-1192 京都府京都市左京区静海市原町
F 電話 (075) 741-1411
A X 電話 (075) 741-1412

トソー 株式会社

代表取締役
長 大槻 保人

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目一四番一
F 電話 (03) 3552-1745
A X 電話 (03) 3552-1746

リリカラ 株式会社

代表取締役
長 山田 俊之

〒160-8315 東京都新宿区西新宿七丁目一五番一
F 電話 (03) 3366-1782
A X 電話 (03) 3366-1783

株式会社 サンゲツ

代表取締役
社長兼執行役員 安田 正介

〒451-8575 愛知県名古屋市中西区幡下一丁目一四番一
F 電話 (052) 5641-3111
A X 電話 (052) 5641-3112

東リ 株式会社

代表取締役
長 永嶋 元博

〒664-8610 兵庫県伊丹市東有岡五丁目二五
F 電話 (06) 6492-1131
A X 電話 (06) 6492-1132

ロンシール工業 株式会社

代表取締役
長 門脇 進

〒130-8570 東京都墨田区緑四丁目一五番一
F 電話 (03) 5600-1182
A X 電話 (03) 5600-1183

公益財団法人 日本防災協会

理事長 丸山 浩司

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四丁目一五番一
F 電話 (03) 3346-1661
A X 電話 (03) 3346-1662

一般社団法人 日本内装仕上技能士会連合会

理事長 飯島 勇

〒133-0042 東京都江戸川区興宮町二丁目一六番一
F 電話 (03) 3653-1988
A X 電話 (03) 3653-1989

日本クリーナーズ防災協会

理事長 山田 秀夫

〒183-0056 東京都府中市寿町三丁目二二番一
F 電話 (042) 3647-7224
A X 電話 (042) 3647-7225

公益社団法人 インテリア産業協会

理事長 渋谷 忠彦

〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目二二番一
F 電話 (03) 5379-1860
A X 電話 (03) 5379-1861

北 北 南 南

日装連単組
レポート

Dec. 2016 12

北海道ブロック

北海道

15日 ホームページ更新 No.1433。
同日 第3回理事会

内送信。
20日 平成29年度前期技能検定受験希望調査送信。

東北ブロック

青森

15日 団体中央会の経理講習会に村上事務局長が出席。
26日 日装連本部・化粧フィルムメーカー説明会に小林理事長が出席。
27日 青装協ニュース12月号発行。

20日 日装連50周年記念特別委員会が日装連事務所に於いて開催され、細野理事長が出席。

岩手

1日 法定福利費を別枠計上する「標準見積書」(内装工事業における法定福利費)の作成講習会を開催。役員4名が出席。議題・

宮城

1日 平成28年度宮城県職業能力開発関係表彰式。佐々木正至氏、大友政弘氏が技能検定功労者として宮城県職業能力開発関係知事表彰を受賞。
15日 三役会を開催。

関東ブロック

茨城

7日 増淵理事長組合事務所執務。11月30日開催の防災・施工管理委員会の報告。加えて、内装業者に対する社会保険加入、未加入はもとより、工事物件見積について、標準見積書として定義化

栃木

12日 来年2月の法定防火壁装設資格管理者の講習日決定。2月9日。
14日 理事長の働きかけにより、足場組立等の特別教育実施の提案。2月3日に実施決定。
21日 足場組立等特別

組合創立50周年記念事業の件。収支報告他。
同日 宮城インテリアニュースNo.63発行。

秋田

15日 三役会議を開催。組合の年末年始休暇案内(12月29日～1月5日)を組合員に連絡。

山形

29日 1月5日 組合年末年始休暇。

福島

8日 県北支部 支部会兼忘年会開催。支部会議題・支部新年会について。
16日 個人情報保護法説明会案内送信。
17日 県北支部青年部忘年会開催。

群馬

5日 群馬県職業能力開発協会部長 後藤英一氏 来訪。お通夜参列。久保田理事長が出席。
14日 前橋高等職業訓練校 任命式及び打合せ会議に久保田理事長が出席。

千葉

19日 群装協三役会に久保田理事長、治田副理事長、青木副理事長、小林等副理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に久保田理事長が出席。

埼玉

8日 第7回理事会を開催。12名が出席。議案・①平成28年度事業開催結果について。②平成28年度事業計画について他。

体中央会。
9日 日装連50周年記念式典前登壇。栃木県室内装飾事業協同組合11名登録。
13日 技能検定(カーテン工事作業基礎2級)実技・学科試験実施。中国人実習生3名が受験。テーマ・共同事業、中小企業対策。鳥次貞男検定委員・坂本竹男事務局長が出席。
28日 仕事納め。

15日 三役会議を開催。組合の年末年始休暇案内(12月29日～1月5日)を組合員に連絡。

群馬

5日 群馬県職業能力開発協会部長 後藤英一氏 来訪。お通夜参列。久保田理事長が出席。
14日 前橋高等職業訓練校 任命式及び打合せ会議に久保田理事長が出席。

山形

29日 1月5日 組合年末年始休暇。

福島

8日 県北支部 支部会兼忘年会開催。支部会議題・支部新年会について。
16日 個人情報保護法説明会案内送信。
17日 県北支部青年部忘年会開催。

群馬

5日 群馬県職業能力開発協会部長 後藤英一氏 来訪。お通夜参列。久保田理事長が出席。
14日 前橋高等職業訓練校 任命式及び打合せ会議に久保田理事長が出席。

千葉

19日 群装協三役会に久保田理事長、治田副理事長、青木副理事長、小林等副理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に久保田理事長が出席。

埼玉

8日 第7回理事会を開催。12名が出席。議案・①平成28年度事業開催結果について。②平成28年度事業計画について他。



8日 青年部主催 第1回「セールのスキル向上セミナー」に青年部会員16名が出席。講師・(株)インクルーズ代表取締役 役荒船知之氏。
13日 技能検定(カーテン工事作業基礎2級)実技・学科試験実施。中国人実習生3名が受験。テーマ・共同事業、中小企業対策。鳥次貞男検定委員・坂本竹男事務局長が出席。
28日 仕事納め。

東京

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

千葉

2日 千葉県中小企業団体事務局責任者協会千葉県中小企業組合士会合同視察研修。旭市 大原幽学記念館 香取郡神崎町 道の駅(発酵の里こうさき)。鳥飼事務局長が出席。
6日 理事会・忘年会を開催。平成29年賀詞交歓会の件。新技術研修会の件他。
19日 千葉東法人会第5支部連合主催 熊谷俊人千葉市長との懇談会。

神奈川

同日 定例理事会に理事15名、事務局2名が出席。
同日 定例理事会に理事15名、事務局2名が出席。
同日 定例理事会に理事15名、事務局2名が出席。
同日 定例理事会に理事15名、事務局2名が出席。

神奈川

1日 三役会議を開催。渡邊理事長他4名が出席。次回理事会上程議題の確認。
2日 神奈川県団体中央会冬季役員懇談会に渡邊理事長が出席。
8日 第363回定例理事会を開催。渡邊理事長他12名が出席。内容・報告事項①平成28年度賦課金入金状況の件。②上半期ラベル販売状況の件。③長時間労働削減をはじめとする「働き方改

埼玉

8日 第7回理事会を開催。12名が出席。議案・①平成28年度事業開催結果について。②平成28年度事業計画について他。

富山

7日 「忠考会」講演参加。
7日 忘年会に11名が参加。

千葉市の目指す地方創生をテーマとした熊谷市長の講話の後、質疑応答の懇談が行われた。藤間理事長と鳥飼事務局長が出席。
15日 2月に実施する新技術導入研修会の件。東リ(株)中川忠広氏より商品説明を受け、カリキュラムについても話し合い。藤間理事長、大塚副理事長、伊藤教育資格委員長、事務局が出席。

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

東京

1日 環境研究会「アサヒビル茨城工場」見学会。委員4名、事務局1名が参加。
6日 流通研究会に委員7名、事務局1名が出席。情報交換及び今後の研究会活動について。
8日 厚生委員会に委員5名、事務局2名が出席。第48回ボウリング大会収支報告。来年度事業について。
14日 正・副理事長会に理事長、副理事長2名、事務局1名が出席。12月定例理事会議題内容の確認。新年賀詞交歓会について。

二多摩

2日 足場の組立て等特別講習会。34名が受講。関理理事長が出席。
同日 防火壁装設施工管理講習。29名が受講。佐々木副理事長、岡村副理事長が出席。
6日 日本クリーナー防災協会年末講習会。3名が出席。
7日 定例理事会の開催。理事10名、監事1名が出席。委員会及び事務局体制について。
13日 事務局会議に5名が出席。事務体制について。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

新潟

1～7日 平成28年度ボランティア活動(上越高田地区)。「旧師団長官舎 町家交流会館高田小町」の障子張替作業。常時営業中の為、全室廊下も合わせて9ヶ所。朝搬出、夕方搬入。述べ5日間10人で作業を行った。
8日 基礎2級カーテン工事技能検定。3名が受講。検定委員・福崎氏。
9日 新川支部 役員会開催。
16日 富山支部 忘年会を開催。
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

石川

1日 足場の組み立て等に係る特別教育講習会(短縮3時間)。午前173人、午後154人合計327人が受講。講師・石田氏、市野氏。

16日 広報委員会に委員3名、事務局2名が出席。新聞12月号の編集結果報告。新聞1月新春号の編集方針について。
同日 環境研究会に委員25名、事務局2名が出席。アサヒビル茨城工場見学会報告。
28日 東京室内装飾事業協同組合事務所仕事納め。

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

二多摩

2日 足場の組立て等特別講習会。34名が受講。関理理事長が出席。
同日 防火壁装設施工管理講習。29名が受講。佐々木副理事長、岡村副理事長が出席。
6日 日本クリーナー防災協会年末講習会。3名が出席。
7日 定例理事会の開催。理事10名、監事1名が出席。委員会及び事務局体制について。
13日 事務局会議に5名が出席。事務体制について。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

新潟

1～7日 平成28年度ボランティア活動(上越高田地区)。「旧師団長官舎 町家交流会館高田小町」の障子張替作業。常時営業中の為、全室廊下も合わせて9ヶ所。朝搬出、夕方搬入。述べ5日間10人で作業を行った。
8日 基礎2級カーテン工事技能検定。3名が受講。検定委員・福崎氏。
9日 新川支部 役員会開催。
16日 富山支部 忘年会を開催。
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

山梨

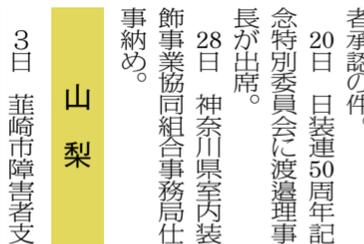
3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

石川

1日 足場の組み立て等に係る特別教育講習会(短縮3時間)。午前173人、午後154人合計327人が受講。講師・石田氏、市野氏。

富山

7日 「忠考会」講演参加。
7日 忘年会に11名が参加。



援施設「あさひワークホーム」にて内装仕上げ施工活動。桜井理事長他6名が参加。食堂の壁、クロアズ張替え。
6日 三役会を開催。理事4名が出席。第5回理事会日程について。日装連50周年記念式典出席者について。表彰推薦者について。
19日 平成28年度石川県卓越技能者(百万石の名工)知事表彰式。被表彰者・林富雄氏(富山県)。同日 第44回石川の技能まつり第3回実行委員会に林富雄工部局長が出席。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

新潟

1～7日 平成28年度ボランティア活動(上越高田地区)。「旧師団長官舎 町家交流会館高田小町」の障子張替作業。常時営業中の為、全室廊下も合わせて9ヶ所。朝搬出、夕方搬入。述べ5日間10人で作業を行った。
8日 基礎2級カーテン工事技能検定。3名が受講。検定委員・福崎氏。
9日 新川支部 役員会開催。
16日 富山支部 忘年会を開催。
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

石川

1日 足場の組み立て等に係る特別教育講習会(短縮3時間)。午前173人、午後154人合計327人が受講。講師・石田氏、市野氏。

富山

7日 「忠考会」講演参加。
7日 忘年会に11名が参加。

師・浜本良一氏(福井県)須賀原専務理事が出席。13日 織協ビル年忘れ会。理事長 野尻相談役、岡山名譽組合員、上坂副理事長、岡山副理事長、須賀原専務理事が参加。
15日 福井県技能士会連合会理事会上坂副理事長が出席。
21日 あなたの会社訪問取材。場所・(有)フクイ内装システム。出席者・八ヶ代社長、大祐氏、西原監事、事務局員。

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

新潟

1～7日 平成28年度ボランティア活動(上越高田地区)。「旧師団長官舎 町家交流会館高田小町」の障子張替作業。常時営業中の為、全室廊下も合わせて9ヶ所。朝搬出、夕方搬入。述べ5日間10人で作業を行った。
8日 基礎2級カーテン工事技能検定。3名が受講。検定委員・福崎氏。
9日 新川支部 役員会開催。
16日 富山支部 忘年会を開催。
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

山梨

3日 韮崎市障害者支援
同日 建設工業新聞のインタビューを受ける。宮崎理事長が対心。
20日 富山県建設専門工業団体協議会 全体会議に小倉専務理事が出席。
25日 参議院議員野上浩太郎を囲む会 内閣官房副長官就任記念に宮崎理事長が出席。
28日 組合事務所仕事納め。

石川

1日 足場の組み立て等に係る特別教育講習会(短縮3時間)。午前173人、午後154人合計327人が受講。講師・石田氏、市野氏。

富山

7日 「忠考会」講演参加。
7日 忘年会に11名が参加。

石川

1日 足場の組み立て等に係る特別教育講習会(短縮3時間)。午前173人、午後154人合計327人が受講。講師・石田氏、市野氏。

8日 長野県職業能力開発協会主催「人材育成に取り組み企業の事例発表及び意見交換会」に大原理事長が出席。
6日 日装連新聞最新線採訪「コーナー」大原理事長が取材協力。
19日 次世代委員会が役員会を開催。

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

福井

1日 石川県組合足場講習会講師派遣。講師・浜本良一氏(浜本建築)。
8日 現代の名工 知

19日 第18回きふ技能フェスティバル企画会議に森本理事が出席。開催にあたり審議。
26日 中部ブロック会開催についての会議に河島理事長、橋本副理事長、高島理事、橋本副理事長、虫賀専務理事が出席。
28日 仕事納め。

同日 青年部交流会に青年部会員23名が出席。
19日 日装連常任理事会に角田理事長が出席。
20日 日装連50周年記念特別委員会に角田理事長が出席。
22日 群装協北ブロック会に4名が出席。
24日 群装協東ブロック会に3名が出席。
27日 群装協中央ブロック会に10名が出席。
28日 角田理事長組合事務所執務。

長野

8日 長野県職業能力開発協会主催「人材育成に取り組み企業の事例発表及び意見交換会」に大原理事長が出席。
6日 日装連新聞最新線採訪「コーナー」大原理事長が取材協力。
19日 次世代委員会が役員会を開催。

愛装協技能士会の本年度事業の問題点提起と来年度事業への対策検討を実施、会議終了後に事業協力への慰労を兼ねて懇親会を開催。

15日 愛知県中小企業団体中央会 常勤役員 藤井事務長が出席。

同日 平成28年度前期技能検定合格証書交付。合格者・壁装 1級8名、2級4名、プラスチック1級5名、木質 1級2名。

19日 愛装連理事会上に 杉森副理事長が出席。

同日 防火・防災委員会 年末懇親会に9名が出席。

同日 日装連 常任理事会上に川瀬理事が出席。

20日 日装連50周年記念特別委員会に川瀬理事が出席。

21日 愛知県中小企業共済協同組合 常任理事 会・理事会上に川瀬理事が出席。

同日 愛知県中小企業共済協同組合 年末合同懇親会に川瀬理事が出席。

22日 愛装協常任理事会上に 内容・平成28年度新年初顔合わせの件。第322回理事・役員会次第の確認。

28日 仕事納め。

12日 県中央会 堀田氏、坂上氏組合事務所来訪。建設専門工事人材確保懇談会開催の打ち合わせ。

13日 近畿ブロック内装士部会研修会開催(2/1開催)の案内を組合員へ送付。

2日 年末役員会を開催。

14日 理事会を開催。

同日 京都室内装飾技能士会役員会を開催。

26日 「ものづくりフェア2016」実行委員会。

28日 京都室内装飾技能士会忘年会。

29日 年末年始休暇。

2日 組合会館建替委員会開催。小坂田理事長および建替委員が出席。

同日 平成28年 年末合同セミナー開催。大阪弁護士協同組合より講師を招き、「事業承継問題」について勉強会を開催した。

同日 理事会・青年部会合同忘年会を開催。理事および青年部有志が参加。

19日 日装連常任理事会上に小坂田理事長が出席。

20日 日装連50周年特別委員会に小坂田理事長が出席。

2日 理事会・忘年会開催。

5日 新年互礼会案内状を送付。

同日 中兵庫・但馬支部合同支部会、講習会の案内状を送付。

7日 播磨支部 東リ(株)講習会・忘年会開催。

8日 日装連50周年記念式典参加者、募集案内。

15日 近畿ブロック内装士講習会の案内を送付。

9日 (有)インテリア情報企画 石井氏来訪。しるまね組合平成29年1月号掲載記事の取材。日装連新聞「最新線探訪6」。

16日 組合事務所にて三役会を開催。理事長 専務理事、事務局が出席。内容①会員増強の活動方針。②青年部「研修と懇話会」開催の協力。③防火壁装・防災業務講習会の開催時期の了承。④中央会助成金の消化状況等。

27日 卸部会開催案内を送付。インテリア・T O R I・K A E R U 販促グッズを組合員へ紹介のため1セット送付。

6日 日装連近畿ブロック青年部・次世代委員会上に池田氏、谷本氏、東端氏、松坂氏、松岡氏、畑氏が出席。

13日 流通委員会に浦口副理事長が出席。

9日 若年技能者人材育成支援等事業に織原理事長、原田副理事長、大西顧問理事が出席。

15日 若年技能者人材育成支援等事業に織原理事長、田村副理事長、原田副理事長、安永専務理事、大西顧問理事、井上理事、由利理事が出席。

2日 中讃支部会に支部員9名が出席。

3日 第296回 理事会・忘年会に理事11名が出席。

9日 香川県建設専門工業安全大会に原理事長、真室副理事長、杉本専務理事、三井次世代理事が出席。

10日 西讃支部会に支部員6名が出席。

23日 亀山学園にてポランティア活動。13名が出席。内容・ガラスフ

1日 第58回建設事業ノードン運動実施説明会に中村理事長が出席。1. 建設業労働災害防止協会愛媛支部からの説明。2. 愛媛支部からの説明。

同日 定例理事会及び忘年会を開催。定例理事会・吉永理事長他12名が出席。忘年会・46名が出席。議題・日装連創立50周年記念式典出席等について。

同日 高松協親睦ゴルフ大会を実施。19名が参加。

13日 高松協親睦ゴルフ大会を実施。19名が参加。

同日 定例理事会及び忘年会を開催。定例理事会・吉永理事長他12名が出席。忘年会・46名が出席。議題・日装連創立50周年記念式典出席等について。

同日 理事会・忘年会。15名が参加。

19日 常任理事会、日装連忘年会。

20日 50周年記念特別委員会。

21日 西浦理事長はじめ日装連副理事長、専務理事、国交省などの挨拶回りに和日常任理事が参加。

同日 第5回役員会を開催。①日装連50周年記念式典の件。②新年賀詞交歓会運営の件。

6日 H28年度第4回理事会を開催。日装連50周年記念式典参加者 理事長・他5名参加とした。

同日 第1回カーペット系床仕上げ工事作業1級技能士育成勉強会を開催。10名が参加。

7日 28年度沖繩県ブロック会を開催。理事役

同日 理事会・忘年会。15名が参加。

19日 常任理事会、日装連忘年会。

20日 50周年記念特別委員会。

21日 西浦理事長はじめ日装連副理事長、専務理事、国交省などの挨拶回りに和日常任理事が参加。

同日 第5回役員会を開催。①日装連50周年記念式典の件。②新年賀詞交歓会運営の件。

6日 H28年度第4回理事会を開催。日装連50周年記念式典参加者 理事長・他5名参加とした。

同日 第1回カーペット系床仕上げ工事作業1級技能士育成勉強会を開催。10名が参加。

7日 28年度沖繩県ブロック会を開催。理事役



岡山組合 ものづくりフェア2016 出展

能士会連合会 松村副大臣との熊本地震に関する助成金勉強会に中野理事長・事務局坂田氏が出席。

12日 熊本市職業訓練センター親睦会に中野理事長が出席。

13日 技能検定 検定台移動。5名が参加。

20日 職業訓練法人 熊本市職業訓練協会 忘年親睦会に中野理事長が出席。

16日 青年部会忘年会。青年部7名・賛助会員11名が出席。

5日 総務委員会(組合新聞編集作業)。園田総務委員長、田中理事が出席。

8日 三役員会議に理事長以下4名が出席。①今後のスケジュールの確認。②新年会 29年1月14日。年末年始休暇 12月29日～1月4日。③日装連関連について。④日装連50周年式典出席について。⑤賦課金 振替手数料について。⑥内装士研修会について。

日装連新聞全面カラー化にとまない「北から南」のコーナーでは各組合のセミナーや講演会・ボランティア活動・地域イベント参加などの活動を写真付きで紹介していきます。

イベント参加の写真データがあれば組合レポートと一緒に送りますと幸いです。

*紙面スペースの都合上、掲載を行えない場合もございますが、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

日装連新聞からのお願ひ



しまね組合

全国の組合を訪ね、現地の生の声をお届けする企画「最前線探訪」第6回目は、しまね組合にて登場いただく。

標準見積書の普及などに向け 行政に具体的な要望書を提出

しまねインテリア事業協同組合は、昭和44年(1969年)設立。来る平成31年には、50周年を迎えることになる。

発足時24社でスタートしたしまね組合は、現在、隠岐の島を含む、島根県全域の室内装飾施工・加工業者で構成され、組合員数103社、賛助会員9社が加盟。支部としては、東部支部(42名)、出雲支部(34社)、西部(36社)、青年部(17名)がある。また委員会活動としては、経営活性化委員会



松江市との懇談 (上) 日銀松江支店長・三輪氏の講演



松江城

今回は、理事長の細木勝氏(株ツルミ)、専務理事の三高正治氏(尙装栄)、事務局長の石田克己氏にお話を伺った。

貸家建設が多く、島根県はいま、仕事自体は忙しいとのこと。そうした中、しまね組合では、組合員の事業に関する経営及び技術の向上、知識の共有を図るための教育事業や、情報の提供、内装工事業の社会的地位向上を最大の活動目標に、法定福利費等を含む標準見積書の普及に向け、行政への働きかけを推進している。

これは、毎年の総会の後、島根県及び県の関係機関、松江市の関係部局の出席を仰ぎ、1時間弱にわたって意見交換の席を持ち、県下内装工事業界の認知向上を図っている。内容は、標準見積書の件に加えて、公共工事や

物品調達(カーテン・ブラインド・カーペット・緞帳等)に際して、内装仕上げ工事業者許可業者、施工管理技士・登録基礎技能者・技能士、防災表示者認定業者の3項目を有する事業者に分離発注し、軽微な作業であっても、高所作業、足場組み立てを伴うものは工事として発注してほしいこと、搬入・搬出・廃棄処分費まで必要経費を予算化し、納入場所ごとに計上してほしいことなどを要請しており、修繕工事・小規模修繕工事への入札を行うことで、成果も出はじめているところで、今後も継続していきたいとのことだ。

課題は後継者・事業継承と 最低工事価格の引き上げ

一方で、課題は、後継者・事業継承の問題と、最低価格引き上げの問題が挙げられる。前者については、急速に進展する高齢化の影響で、組合員の減少も否めない事実。ニューシレッタ「インテリアしまね」を年3回発行し、組合活動の周知を図ってきたこともあって、この5年間における退会者は4社にとどまったが、今後は、



「しまね技能フェスティバル」の様子

最低価格の問題では、他の地域と同様、予算・工期が非常に厳しく、工事単価を比較すると、35年前より低いというのが現実。まずは公共工事における設計価格の見直し(標準見積書活用による)に、内装業界として取り組む必要があるとのこと。後継者が事業を引き継ぎたいとしている。

「ストップ・ザ・縮小不均衡」 日銀・三輪支店長のセミナー開催

ところで、しまね組合が、職協協主催「しまね技能フェスティバル」に3年連続して出展したのもそうした取り組みの一環で、これまで、デジタルプリントクロスの実演、子供向けの小物入れや写真フレームづくりのワークショップを通じて、消費者と直にふれあい、内装工事業界としてアピールし、未来ある子供たちに、内装工事の仕事に夢をもってもらおうよう働きかけを行った。

また、昨年11月には、浜田市で、日本銀行松江支店の三輪信司支店長を講師に、「当地経済の課題と展望」と題した勉強

高齡化と事業継承の問題で、増え続けることが懸念される。また、目の前の技能職人の不足対策も急務で、ただでさえ不足しているところへ、工期が重なるなどしても人出不足となることから、工事発注の平準化が望まれるとしている。

三輪支店長によると、これまでの理想的な社会モデル、自分たちの一族の繁栄を図るといふ、言わば「アンマルスピリット」から脱却し、顧客にとっての価値は何かを問う産業へと転換を図るべきではないか、などといったお話があった(なお、過疎の代名詞のように言われる島根県は、現在、子育て支援策に行政をあげて注力しており、全国2位の実績があるという)。さらに、今後のリノベーション需要を見込み、「福祉住環境コーディネーターセミナー」を10月に、内装士会と3度に分けて開催、14名が参加し、能開指導員・諸石賢一講師から、高齢者や障がい者を取り巻く社会状況や

元請企業となる未来像を描き 様々な知識の習得に努める

組合として、こうした様々な勉強会に力を入れたい。三島専務理事は、「ゼネコンや工務店の下請仕事を大事にしていくことは当然ですが、それとは別に、我々は元請として仕事を受注出来る業界になることが大きなテーマです。元請になるためには、何より知識が大事です。知識がなければお客様に説明できません」と語る。「我々がスキルアップして、どの業界から見ても模範正したフォーマルな姿勢をとっているように、我々も元請企業になることが出来るでしょう。それが我々の未来に向けた最大の目標です」とのことであった。

壁紙からはじめる 自由な空間

WALLCOVERING 2016-2018.s

RéSERVE

sangetsu Joy of Design

株式会社サンゲツ 本社/名古屋市中区幡下1-4-1 Tel.052-564-3111

GX

TOLI GRAPHIC TILE CARPET

進化する 意匠と防汚性

フッ素系樹脂と特殊ナノ加工を施した東リ独自の防汚加工

ステアリア、エトリコ、メイオリカに 特殊防汚 実施。

東リ株式会社 http://www.toli.co.jp